

会 議 結 果

会議名	令和7年度第1回館林市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会
日時	令和7年5月29日（木）午前10時から午前11時15分まで
場所	市庁舎5階504会議室
出席者	<p>【委員】計7名 神谷会長、田中委員、仙波委員、丸山委員、島田委員、鈴木委員、河内委員 ※欠席者：菅野委員、板橋委員</p> <p>【市職員】計4名 政策企画部長、企画課長、政策推進係長、政策推進係担当</p>
議事要旨	<p>1 開会</p> <p>2 あいさつ</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 会長の選出について 神谷委員を会長に選出</p> <p>(2) 次期総合戦略の策定について (委員からの主な意見等) 特になし</p> <p>(3) 次期総合戦略の構成について (委員からの主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 館林市は豊かな自然が多く住みやすい一方、近隣の太田市や明和町と比べ経済的な遅れが見られると考えており、そんな中でも「里沼」などに関する施策等が優先されていると感じる。 ・ 館林市は古くからの伝統があり、「経済」・「観光」などバランスのよいまちづくりを進めるべきであると思うが、施策が中途半端でありPRが弱いのではと感じる。 ・ 館林市は古くから城下町として発展し、市民のシビックプライドも高いと感じており、多くの素晴らしい資産があると思うので、それらを有効に活用してほしい。 ・ 近年高校生の進学が多く、大学卒業後、館林市に戻ってくる率も少なくなっているが、館林市で育った方々が、戻ってきて働いてくれることが理想である。

	<p>(4) 次期人口ビジョンの策定について (委員からの主な意見等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「次期人口ビジョン」の策定にあたっては、50年後の将来展望人口は示されているものの、短期・中期の目標も立てると良い。 ・ 既に企業側からの「都市の選別」が始まっており、人口が減る都市には進出してこないことから、早急に人口減少対策に着手し官民連携で綿密に対策をしていかなければ、2070年の45,000人も厳しいものになってしまうと考える。 ・ 若い方が市外に転出しないようにするためには、「住みたい」・「住んでいてよかった」と思えるような魅力あるまちづくりを行い、移住・定住施策や企業誘致等を進めていくべきである。 ・ 合計特殊出生率について、「1.42」という数値も相当な対応をしていかなければ現実的には厳しいと感じており、また、「生産年齢人口」が半減する推計になることへの対策、それらの世代が減る前提での施策の検討を行っていくべきであると考えている。 ・ 出産した後の働く女性や子どもへのフォローが大切であり、「地域コミュニティ」をうまく活用していけば、地域への愛着が沸き、館林市に戻ってくることに繋がる。 <p>4 その他 特になし</p> <p>5 閉会</p>
--	---